

がん遺伝子KRASの発現を抑制する核酸医薬

呼吸病態学 和泉弘人

利用分野

細胞内で細胞増殖を促進するシグナルを伝達するタンパクを作り出すKRAS遺伝子を標的とした核酸のがん治療薬である。新規核酸医薬の創出につながるシーズである。

シーズ

KRASをコードする核酸分子を標的とする塩基数25個のアンチセンス核酸配列のうち特定の8種類の核酸は、KRASの発現を抑制して腫瘍細胞生存率を10%未満に低下させることができる。



ニーズ

KRASの発現抑制は、腫瘍細胞の生存を低下させることが期待できる。アンチセンス核酸配列については複数報告されているが、最適な配列は特定されていない。

連携分野

- 核酸医薬の開発に取り組む企業とのコラボ
- 核酸のDDS技術を有する研究機関とのコラボ



知財保護

特願2020-007857

KRAS遺伝子検査はすでに行われている



産業医科大学 産学連携・知的財産本部
〒807-8555
福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号

問い合わせ先: 研究支援課
TEL: 093 (280) 0532
FAX: 093 (691) 7518
E-mail: chizai@mbox.pub.uoeh-u.ac.jp